

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	鶴ヶ峰もえぎ本部（単位3：きぼう）		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 2日		～ 2024年 10月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年 10月 8日		～ 2024年 10月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	その日のスケジュールを利用者が立てて活動している。	時間を意識した生活になるよう、ホワイトボードに目安となる時間を記入している。	中高生だけでなく、小学生のうちから自身のスケジュールの作成を行うようにした。
2	問題行動があった時は報告・共有し改善するべく話し合いを行う。	支援時間内であっても簡潔な情報共有はマメに行なっている。	再び同様のケースが発生しないよう、全体に周知し、人に拘らず誰でも対応できる支援を考える。
3	保護者会の開催	保護者の混乱が無いように、事前の告知を心がけた。	サロンの実施を目標に考案している途中。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	時間帯によって把握が手薄だと感じる。	送迎業務の負担感	運転手の採用など
2	非常時の持ち出し袋の場所が周知されていない	職員向けの避難訓練は行なっていない	分かりやすい収納、整理整頓 非常時の持ち出し袋を活動内で用意する
3	新しい活動への取り組みが少ない	昨年まで活動という概念がなかった	活動というスケジュールが定着してきているので 少しずつ取り組みを広げていく